

# 公務員試験 ジャーナル

第43巻 第3号  
2022年3月7日発行

特集

## 高3からの 公務員受験指導のポイント

本特集では、高校3年生からの指導の流れを5つのステージに区切って、その指導内容のポイントをまとめてみた。公務員受験指導のおおまかな流れをイメージしてほしい。

### 指導を始めるにあたって

公務員志望者に対してまず必要なことは、公務員の仕事の特色、採用後の待遇・勤務条件など正しい公務員像を知るための情報の提供である。

当社のウェブサイトでも公務員試験情報を随時提供している ([https://www.jitsumu.co.jp/gokaku\\_navi/news/](https://www.jitsumu.co.jp/gokaku_navi/news/)) が、リアルタイムの情報は人事院の「国家公務員試験採用情報 NAVI」 (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) はじめ、各官公庁・自治体のウェブサイトを確認して、生徒にフィードバックしてほしい。

### 【① 4～6月】基礎力養成

#### ●ガイダンス・面談等

この時期のガイダンスの内容としては、

- ①国家・地方公務員の職種と職務の概要
- ②公務員試験の概要とその流れ
- ③公務員試験の受験対策

というような基本的な説明を行う。

ガイダンスの方法としては、高校3年生の1学期の早い時期、進路指導の時間に全体指導として1時間程度公務員についての概要を説明し、その後、後に公務員志望者を対象としたガイダンスの機会を設けて、1～2時間程度でより詳しい説明を行うとよい。

その際に留意したいのは、警察官や消防士など公安系の職種では身体基準が設けられている場合が多く、あらかじめそれらの条件をクリアしてい

なければ受験できない点だ。無駄足を踏ませないためにも、公安系の職種を志望する生徒には、自分がその基準を満たしているかを確認させることを徹底してほしい。

公務員志望者のグルーピングについては、初めから厳密に絞り込む必要はないが、「公務員受験コース」といったようなグループにまとめ、合理的な指導体制に乗せていくことが望まれる。

また、保護者に対しては、進路説明会などの機会に、公務員についての基本的なガイダンスを実施するとともに、自校の公務員受験指導の取り組み姿勢を説明して、理解を求めておくことが大切になる。

6月の下旬には、各試験の申込受付が始まるので、5月に入った段階で、最終的な出願のための個別ガイダンス、あるいは保護者を交えた三者面談を計画し、生徒と保護者に最終的な意思確認をしておくことが必要となる。

また、試験日程や出願方法などの情報のほか、志望先選定の重要な資料となる前年度の試験結果の収集に努めるとともに、生徒自身の力でも試験情報の収集をしていくよう指導してほしい。

#### ●試験対策指導

最初の学習プログラムとしては、

- ①教養（基礎能力）試験対策
- ②適性試験・SPI 対策
- ③作文試験対策

の3つの柱を据えて、基礎の徹底的な復習を中心とした学習計画を立ててほしい。

科目数が多く、短期的にはなかなか効果が上がらない**教養（基礎能力）試験対策**では、生徒のモチベーションを維持していくことが難しい。個々の生徒の得意分野と苦手分野を把握して、前向

資料1 ●高校3年生からの公務員指導プログラム

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	1学期				夏休み	2学期					冬休み	3学期		
ガイダンス／指導内容	①基礎力養成		②応用力養成		③実戦力養成		④試験直前対策		⑤採用面接対策 不合格者指導					
	公務員ガイダンス	進路相談① (公務員志望確認)	進路相談② (志望先最終決定)	夏期講習 (実戦型指導)		受験準備 (下見など)	面接対策指導	(不合格者指導)	採用面接対策					
(公務員模試)	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回								
本試験 ※大まかな時期		受験案内配布		出願開始			一次試験	一次試験合格発表	二次試験	最終合格発表	採用面接	採用内定		

きな気持ちで計画的に学習に取り組めるように、折々の到達度のチェックと、学習計画を見直し励ます指導を心がけたい。

また、公務員試験で出題される**適性試験**は、いわゆる「適性検査」とは異なり、練習すればするほど着実に結果に表れる試験なので、なるべく早い段階から練習を開始するように指導したい。また、近年市役所を中心に採用されるようになってきた「SPI」も同様で、早い時期から専用の問題集などで演習を繰り返し、出題形式に慣れることが大切である。

**作文試験対策**においては、短期間で文章表現力をつけていくことが困難であることはいうまでもない。そのためにはまず、生徒には新聞を読む習慣をつけるように指導したい。新聞記事の文体は、公務員試験の作文の良い手本となると同時に、時事問題への関心を高める指導にもつながってくる。さらに、読んだ記事について要約をさせると、文章表現のトレーニングとなる。

このほか、警察官・消防士などの公安系の職種では、二次試験に身体検査と体力検査が行われる。体力検査は、垂直跳びや反復横跳び、シャトルランなどが課される。公安系職種を志望する生徒には、一次試験の対策と併せて毎日の部活動などを通じての基礎体力作りを奨励しておきたい。

いずれにせよ、公務員試験の受験指導は、多面的な目配りをして、系統的・計画的に組み立てて

いくことが望まれる。当社でも、『高卒程度 公務員模擬試験』のほか、公務員試験対策用の問題集等を各種取りそろえているので、ぜひ活用してほしい。

【②6～7月】応用力養成

●試験対策指導

『公務員模擬試験』を受験した当初は、なかなか思うような結果は出てこないことが多い。判定結果に動揺してしまう生徒も出てくるが、6～7月は公務員試験の形式に慣れることに主眼を置き、判定結果に焦ることなく着実に学習を進めていく時期だと考えてほしい。

この時期は、個々の生徒の弱点分野の補強に重点を置いた個別指導が中心となるが、1学期後半からは、各自が志望する試験の過去問にも触れて、出題傾向に慣れるようにしたい。

作文試験対策としては、実際に文章を繰り返し書かせることが重要となる。『公務員模擬試験』には付録として自習用の作文用紙が付いており、合格作文のポイントを踏まえた添削指導のサービス(有料)が受けられるので、こちらも活用してほしい。

【③夏休み】実戦力養成

●試験対策指導

夏休みは、公務員受験対策のための夏期講習を

中心とした学習計画を組むのが一般的である。公務員志望者の少ない高校では、近隣の公務員受験予備校の短期集中講座などを利用させたり、試験の雰囲気慣れるために公開の模擬試験に参加させたりする例もある。

教養試験対策としては、これまで受験した『公務員模擬試験』をベースに復習することで、弱点分野の克服に努めたい。さらに、試験時間の配分の仕方やマークシートなどの解答方法に慣れる練習も併せて行うことをお勧めする。

適性試験・SPIは正確さとスピードが要求される。教養試験対策の勉強の合間に短時間でもよいので、毎日取り組むよう学習計画に取り込んでほしい。

作文試験対策については、これまで取り組んできた課題を書き直させたり、新聞・ニュースの時事的なテーマについて述べさせたりなどすることで、表現力を高めていく指導を行う。

### ●ガイダンス・面談等

志望職種と勤務希望先の情報収集に時間を取り、面接試験を見据えた準備を始めさせたい。それとともに、受験地の下調べや交通手段の確認、遠方で受験する場合は切符等の手配、宿泊の予約などの準備も生徒自身の手でしっかりと行うべくよう指導してほしい。

また、気が緩みがちな長期休暇中に、生活のリズムを本試験の実施時間に合わせてリセットしておくことも必要となる。そのためには、夏休み期間中の生活パターンもしっかりと管理しておきたい。

## 【④ 2 学期】試験直前対策

### ●一次試験対策指導

試験直前のこの時期は、生徒自身も神経質になることが多い。生徒には新しい問題集などには手を出さず、これまでの復習をすることで自信を持たせる配慮が大切になる。

9月から10月にかけては一次試験が集中的に実施される。ほとんどの受験生がいくつかの試験を併願していると思われるが、風邪などひかないように体調管理についてもしっかりと指導してほしい。

### ●二次試験対策指導

国家公務員試験の二次試験では個別面接が主流だが、都道府県・政令指定都市や警察官試験など

では集団面接や集団討論が併せて実施されるケースもある。できれば受験する試験に合わせた面接指導（模擬面接等）を行ってほしい。

面接指導は、ともすると返答の内容ばかりに指導が向きがちだが、面接官は受験者の態度や表情にその人間性のすべてを読みとろうとしている。服装や頭髪などの基本的な指導もさることながら、社会人としてふさわしい言動についても、日頃から気をつけるよう指導しておきたい。

面接試験においては、事前に提出する履歴書や面接シートなどをもとに質問がされる。採用者側は、将来同じ職場で働くことを念頭に、きちんとコミュニケーションがとれるかどうか重要なポイントとしている。マニュアルに頼った回答ではなく、自分自身の言葉で自分の考えを伝えられるように十分な準備が必要となる。

具体的な面接試験対策については、次号以降で掲載する予定なので、そちらを参考にしてほしい。

## 【⑤試験後】採用面接対策/不合格者指導

### ●最終合格者へ

国家公務員一般職試験は、二次試験の合格イコール採用ではない。最終合格者は採用候補者名簿に登載され、各官庁の採用面接を経て内定者が決定される。

したがって、採用面接対策としては、志望官庁と職種の徹底的な研究が必要となる。さらに、志望動機をはじめ、公務員としてのキャリアプランまでを含めて、しっかりと自分自身の言葉でやる気と本気をアピールする表現力が求められる。先生には、生徒が内定を得られるまで、温かい支援をしてほしい。

### ●不合格者へ

一方、公務員になれなかった生徒のリスク管理も大切な進路指導となる。

一次試験、二次試験、そして採用面接とそれぞれの時点において生徒の取りうる進路の選択肢は異なってくるが、落胆している生徒を励まし、新たな目標設定と進路決定に向けた支援・指導が公務員受験指導の締めくくりとなる。



資料 2 ● 2022 年度 国家公務員採用試験（高卒程度）日程

※2月16日現在判明分

①：インターネット ②：郵送 ③：持参

職種・試験区分		受験資格	受験案内配 布	受付期間	第1次試験日	1次合格発表日	第2次試験日	最終合格発表日
国家公務員一般職高卒	事務、技術 農業、農業土木 林業	A	5/6	① 6/20～6/29	9/4	10/6	10/12～21	11/15
税務職員		B	5/6	① 6/20～6/29	9/4	10/6	10/12～21	11/15
皇宮護衛官高卒	護衛官	C	6/15	① 7/19～28	9/25	10/12	10/24～28	11/22
刑務官	刑務A 刑務A（武道）	1993.4.2～ 2005.4.1生の男子	6/15	① 7/19～28	9/18	10/12	10/20～26	11/22
	刑務B 刑務B（武道）	1993.4.2～ 2005.4.1生の女子						
入国警備官	警備官	C	6/15	① 7/19～28	9/25	10/12	10/25～27	11/22
航空保安大学校学生	航空情報科 航空電子科	B	6/15	① 7/19～28	9/25	10/12	11/14～17	12/20
気象大学校学生		A	6/15	① 8/25～9/5	10/29・ 10/30	12/9	12/16	2023. 1/19
海上保安大学校学生		A	6/15	① 8/25～9/5	10/29・ 10/30	12/9	12/16	2023. 1/19
海上保安学校学生	船舶運航システム課程 航空課程 情報システム課程 管制課程 海洋科学課程	D	6/15	① 7/19～28	9/25	10/12	10/18～27 (航空3次 12/3～13)	11/22 (航空最終 2023.1/19)
裁判所職員一般職 (裁判所事務官・ 高卒)		(未発表)	5月下旬	① 7/5～14	9/11	10/4	10/13～26 の指定する日	11/11

《受験資格》

- A：2022.4.1において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者および2023.3までに高校または中等教育学校卒業見込みの者
- B：2022.4.1において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者および2023.3までに高校または中等教育学校卒業見込みの者
- C：2022.4.1において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者および2023.3までに高校または中等教育学校卒業見込みの者
- D：2022.4.1において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して12年を経過していない者および2023.3までに高校または中等教育学校卒業見込みの者

※社会人対象の試験区分については省略しています。  
 ※上記のうち、採用予定が見込めない試験区分は休止となることがあります。  
 ※国立国会図書館職員一般職高卒は、2021年度に引き続き、2022年度の実施はありません。

『公務員試験ジャーナル』  
バックナンバーについて

本年と前年の『公務員試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材 NAVI」でご覧いただけます。  
 高等学校の TOP ページ ([www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/](http://www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/)) より、「活用情報」→「指導情報」をご覧ください。